

建設大臣賞

東京都市計画道路 幹線街路環状第8号線 井荻立体化事業 (杉並区)

■表彰対象者：東京都建設局

表彰の理由

長年にわたって懸案であった環状8号線の西武新宿線踏切や交差道路による交通渋滞を解消するため、本線はトンネルにより連続的に立体化するとともに、地上部は周辺環境に配慮した地域内道路として整備したことにより、都市内交通の円滑化と生活環境の改善に多大な効果が得られた。

工事の実施に当たっては、限られた道路空間の中で交通を止めることなく安全に施工し、また、道路事業の意義、工事内容などを住民に常時情報公開し、地域の理解と協力を得る努力をした姿勢は、今後の街路事業を推進するうえで模範となるものであるとして評価された。



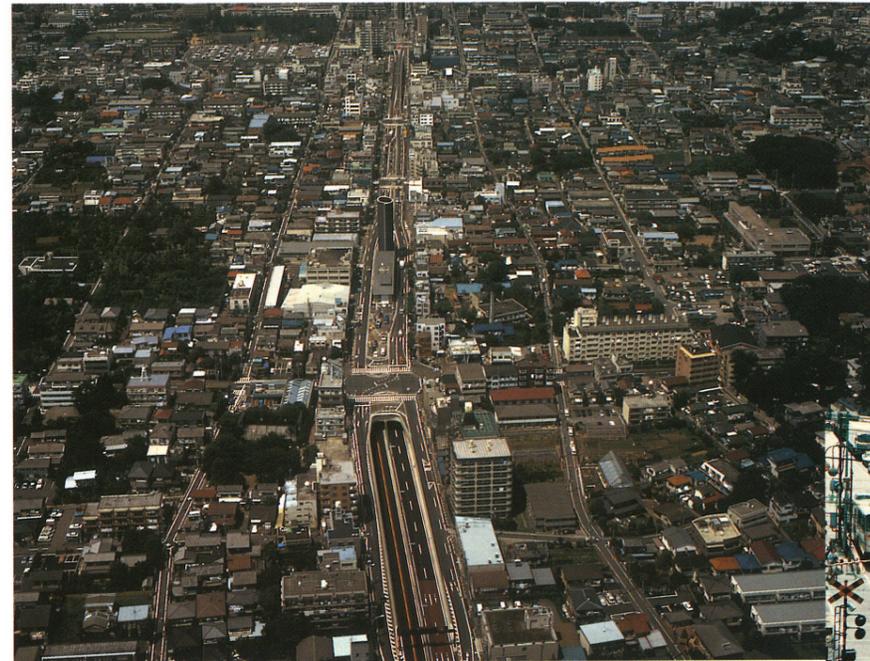
整備後

事業のあらまし

環状第8号線井荻地区は、環状第8号線と西武新宿線の踏切及び3本の都市計画道路が平面交差していたことから、市内でも有数の交通渋滞の著しい地域であった。

本事業はこの渋滞の解消を図るため、これらの踏切及び道路を連続的に立体化する延長1,263mのトンネルと地域交通のための跨線橋を整備するとともに、トンネル内の換気のための換気塔を南北に1箇所ずつ設けたものである。

- 延長：1,895m
- 幅員：25m～33m
- 全体事業費：64,500百万円
うち街路事業費：64,500百万円
- 事業期間：昭和63年度～平成9年度



南側上空から見た井荻トンネル



整備前



南側坑口より換気塔を望む



開通前の南側坑口



トンネル開通前の鉄道交差部跨線橋

事業の効果

トンネル開通6ヶ月後の交通量調査に基づき、本事業の効果を測定したところ、交通量が約29,000台/日から57,000台/日へと約2倍に増加し、トンネルを挟む谷原交差点～四面道交差点間4.6kmを通過する最長旅行時間の比較で外回り78分から11分へと短縮されるなど、交通の円滑化による効果が顕著に現れている。

また、周辺の地域内道路への迂回車両の減少(△30%)や本線交通の地下化による振動や騒音の低減など、地域の環境改善にも大きく寄与することとなった。